

高浜市議会だより

# びいふる



ちやうどいいまち  
ちよっといいまち  
こねでもこねからも  
2020高浜市50th

## 市内の小中学校に空調が設置されました

コロナウイルス感染予防で、換気をしながらの空調使用となりました。来年はもっと良い環境で学習できるといいね(自)



contents  
目次

- P2～P7 ……8月臨時会・9月定例会：議案の内容・議案審議、議員の態度（採決結果）
- P6～P11 ……市政のここが聞きたい（一般質問）
- P12 ……議会中継のご案内、12月定例会のご案内（日程）、編集後記



# 議案等の件名・主な内容及び質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

議案等の件名・主な内容及び質疑・賛成、反対意見や各議員の態度			会派名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会									
種類番号	件名	議案等の主な内容	議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	長谷川 広昌	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈
<p>同=同意 議=議案 認=認定 報=報告 陳=陳情 意=意見案</p>			<p>議案等の主な内容</p>			<p>主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載。 ※委員会 で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論。</p>			<p>結果 ○=賛成 ●=反対</p>										
<p>8月臨時会 第4回(会期:8月17日・1日間) 議案等</p>			<p>議第54号 令和2年度高浜市一般会計補正予算(第7回)</p> <p>歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ863万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ226億2,363万9,000円とする。 ○地方債補正:小学校施設改修事業 640万円 【主要新規事業】小学校維持管理事業</p>			<p>問 港小学校において特別支援学級の児童数の増加による増築工事は、翼小の人数と同数にもかかわらず学級数が異なるのは。答 障がいの種別によって学級編成がされる。問 港小の増築工事がこの時期になった理由は。答 特別支援学級で学習するのか決めるのは保護者であり、就学する前年に、初めて特別支援学級に就学する人数が確定する。</p>			<p>結果 ○=賛成 ●=反対</p>										
<p>9月定例会(会期:9月1日~9月25日・25日間) 議案等</p>			<p>同第16号 教育委員会委員の任命について</p> <p>現任委員の議員政博氏が任期満了となるので、再度任命する。 参考:委員定数4人、委員任期4年</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>										
<p>議第55号 高浜市都市計画事業基金の設置及び管理に関する条例の制定について</p> <p>都市計画事業基金を設置し、都市計画税を都市計画事業及び土地区画整理事業に要する費用に充てた後に生じた剰余金を積み立てる。</p>			<p>問 基金を設置する何か計画があるのか。答 吉浜地区の下水道事業と雨水排水対策事業を進めたい。</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第56号 高浜市空家等の適切な管理に関する条例の制定について</p> <p>空家等の適切な管理に関し、空家等対策の推進に関する特別措置法に定めるもののほか必要な事項を定める。</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第57号 市道路線の認定について</p> <p>開発行為により設置された道路の市への帰属に伴い、市道路線として認定する。 ○北屋敷10号線、小池6号線、山中6号線、山中7号線</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第58号 令和元年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について</p> <p>令和元年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金2億4,230万1,902円について、次のとおり処分する。 ○減債積立金 6,974万4,576円、建設改良積立金 6,000万円、資本金への組入れ 1億1,255万7,326円。</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第59号 事業契約の変更について</p> <p>高浜小学校等整備事業について、建設物価指数の上昇に伴い、契約金額を増額する。 ○6,937万1,672円増額し、変更後49億6,221万311円。</p>			<p>問 増額金額の詳細は。答 1.5%以上の物価変動率があった場合、差分に対して改定を行う。今回、第2期工事の物価変動率が5.3%上昇したため、そこから1.5%引いた3.8%が上昇し増額となった。</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第60号 令和2年度高浜市一般会計補正予算(第8回)</p> <p>歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億2,165万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ227億4,529万2,000円とする。 ○債務負担行為補正:高浜市土地開発公社による公共用地先行取得に要する経費、令和2年度~6年度、3,817万6,000円と経費及び利息相当額。 ○地方債補正:小学校施設改修事業 1,220万円。 【主要新規事業】保育園管理運営事業、家庭的保育推進事業、児童センター事業、放課後児童健全育成事業、幼稚園維持管理事業、小学校維持管理事業、中学校維持管理事業、小学校ICT教育推進事業、中学校ICT教育推進事業</p>			<p>問 市税の賦課事業の中で過年度の還付金及び加算金の補正はなぜ今の時期か。答 新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の生産活動は低迷をしていることから、令和元年度に予定納税として納付していただいた税額のうち、確定申告の提出時に予定納税分の還付が発生。問 戸籍住民基本台帳事務事業の中の委託料の計上はなぜこの時期か。答 令和元年5月31日に公布された、デジタル手続法と戸籍法の一部を改正する法律により、全国の自治体では令和6年までの間に複数の施行日に合わせたシステム改修を行う必要が生じた。問 地域活動支援センター受入れ体制強化等補助金など、支援内容について。答 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスク、消毒液、体温計の購入などに対する補助を予定。問 GIGAスクール構想の端末の進捗状況は。答 教師用の端末は8月末に既に配布完了。児童生体用は、9月末に全台数が配布できる見込み。問 修学旅行等バス借上台数の増加とあるが今年度の修学旅行はどのように考えているのか。答 新型コロナウイルスの感染予防のため、小学校は、京都もしくは奈良を目的地とした日帰り旅行に変更。中学校は山梨のみを目的地にして1泊2日という形でこの秋に実施をしていく予定。</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第61号 令和2年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)</p> <p>歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,800万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ32億9,695万5,000円とする。</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第62号 令和2年度高浜市土地取得費特別会計補正予算(第1回)</p> <p>歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,969万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ8,659万8,000円とする。</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第63号 令和2年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算(第1回)</p> <p>歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,877万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億1,377万7,000円とする。</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第64号 令和2年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第2回)</p> <p>○保険事業勘定:歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,152万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ27億8,721万6,000円とする。 ○介護サービス事業勘定:歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ149万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5,364万8,000円とする。</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													
<p>議第65号 令和2年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)</p> <p>歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ145万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ5億5,457万5,000円とする。</p>			<p>質疑なし</p>			<p>結果 ○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択</p>													

※杉浦辰夫議員は、議長職のため表決権はありません。

# 議案等の件名・主な内容及び質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

同=同意 議=議案 認=認定 報=報告 陳=陳情 意=意見案		議案等の主な内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先して掲載。 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論。	会派名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会									
種類番号	件名			議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 ゆかり	小嶋 克文	長谷川 広昌	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈
9月定例会(会期:9月1日~9月25日・25日間) 議案等				結果	○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択															
議第66号	損害賠償額の決定について	市は、道路陥没による物損事故に起因する損害防止に関し、損害賠償の額を62万4,250円と決定する。	問 名鉄の点検が、なぜ今の段階になったのか。雨水排水管の経年劣化という説明があったが、全市道の点検が必要と考えるがどうか。 答 道路賠償責任保険で手当てをしたため。市内において、土管の埋設管の把握はできていないが、ほぼヒューム管に代わっているものと考えている。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第67号	令和2年度高浜市一般会計補正予算(第9回)	歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ62万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ227億4,591万7,000円とする。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第1号	令和元年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 171億5,054万9,000円に対し、 歳入決算額 170億8,307万4,591円(99.6%) 歳出決算額 161億4,872万7,784円(94.2%)	令和元年度歳入及び歳出について、多岐にわたり質疑あり。 ※詳しくは、ホームページより決算特別委員会会議録参照	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●		
認第2号	令和元年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 33億6,052万円に対し、 歳入決算額 33億5,878万4,632円(99.9%) 歳出決算額 32億9,525万4,633円(98.1%)	問 短期被保険者証等発行について申出があった方全員に発行できているのか。 答 税負担の公平性の確保の観点から必要な対応と考えて実施しており、今後も一定の条件に該当する世帯の方には発行を継続してまいります。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		
認第3号	令和元年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 5,036万3,000円に対し、 歳入決算額 5,036万 565円(100.0%) 歳出決算額 66万7,208円(1.3%)	質疑なし	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第4号	令和元年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 9,557万4,000円に対し、 歳入決算額 9,276万8,732円(97.1%) 歳出決算額 2,480万4,528円(26.0%)	質疑なし	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第5号	令和元年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 28億4,214万2,000円に対し、 歳入決算額 28億 132万2,711円(98.6%) 歳出決算額 27億4,277万4,437円(96.5%)	賛成 7期計画の2年目、保険給付費が計画値に対して98.2%。8期計画に向けてアンケート調査を取り組んでおり評価。 反対 制度が始まって20年、その間介護保険法改正で軽度者切り捨てや特養に原則要介護3以上でなければ入れないなど改悪が続いた。保険料も高額で負担が重い。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		
認第6号	令和元年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	歳入歳出予算現額 5億473万2,000円に対し、 歳入決算額 5億 202万9,350円(99.5%) 歳出決算額 4億9,428万9,698円(97.9%)	賛成 高齢化が進み、医療費の増加が見込まれる中、国民皆保険制度の持続可能な制度の維持と適正な運営を要望。 反対 改正による約10%の引上げに伴う、低所得者の軽減措置の縮小と低所得者の方たちの保険料が高額となる。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○		
認第7号	令和元年度高浜市水道事業会計決算認定について	○収益的収入及び支出:収入予算額8億9,294万3,000円に対し、決算額9億1,376万3,478円。支出予算額8億3,385万6,000円に対し、決算額7億6,525万7,185円。 ○資本的収入及び支出:収入予算額1億781万7,000円に対し、決算額1億2,542万4,480円。支出予算額4億4,509万3,000円に対し、決算額3億6,991万7,221円。	賛成 有収率は97.13%という県内の平均値より、高い値を示している。計画的な管路更新や漏水対策によるもので、経営努力を評価できる。 反対 本市の水道は、県から100%受水している。昨今の水需要にマッチしない多大な投資を改めるように、県に求めたい。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
認第8号	令和元年度高浜市下水道事業会計決算認定について	○収益的収入及び支出:収入予算額9億2,144万円に対し、決算額9億2,610万513円。支出予算額8億7,847万8,000円に対し、決算額8億7,003万2,209円。 ○資本的収入及び支出:収入予算額10億2,764万2,000円に対し、決算額10億2,775万7,290円。支出予算額12億9,163万1,000円に対し、決算額12億6,439万4,244円。 ○特例的収入及び支出:収入予算額7,713万8,000円に対し、決算額7,463万3,872円。支出予算額2億4,124万2,000円に対し、決算額2億4,124万1,669円。	賛成 全体計画に占める整備面積の割合は6割ほどであり、引き続き未整備区域の鋭意進捗を図り、公共用水域の水質保全に努めていただかなければならない。 反対 多額の費用を要するので、起債が膨れ上がる。汚水処理単価が安価とされ、かつ環境問題にも対応できる合併浄化槽の利用を求めたい。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
報第7号	令和元年度健全化判断比率及び公営企業資金不足比率について	○健全化判断比率:実質赤字比率、連結実質赤字比率共に赤字比率なし。実質公債費比率△0.4%、将来負担比率0.7%。 ○公営企業資金不足比率:下水道事業会計、水道事業会計共に資金不足比率なし。	報告事項のため質疑なし。	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
報第8号	専決処分の報告について	市道渡船場線の道路陥没事故に関し、損害賠償の額を27万9,575円と決定した。	報告事項のため質疑なし。	報告事項	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
陳第2号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情	①少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画を早期に策定し、実施すること。②義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ復元すること。以上、2点の意見書を国に提出することを求める。	賛成 子供たちに向き合い、きめ細やかな指導をするためには、定数改善計画の早期・策定実施が必要と考える。また、義務教育費国庫負担制度の堅持と国庫負担率2分の1の復元、教育の一定水準確保のためには必要と考える。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳第3号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成制度を維持し、拡充を求める陳情	「教育の機会均等」の理念にもとづき、国・県の制度と併せて学費負担の公私格差を是正するため、私立高校生に対する市独自の授業料助成制度を維持し、拡充することを求める。	反対 私立高校は、施設も充実している。受益者負担という意味で、一定の負担はやむを得ないと考える。 賛成 未だ抜本的な解決に至ってなく、全ての子供が等しく教育を受ける権利を保障するため。 趣旨採択 趣旨は理解するが、本市においては、他市に比べても充実した助成制度になっている。	不採択	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	

※杉浦辰夫議員は、議長職のため表決権はありません。



# 議案等の件名・主な内容及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度

議案等の件名・主な内容及び 質疑・賛成、反対意見や各議員の態度		会派名	市政クラブ	公明党	新国会	共産党	青政会	高志クラブ	高浜市民の会										
同=同意 議=議案 認=認定 報=報告 陳=陳情 意=意見案	議案等の主な内容	<b>主な質疑及び賛成・反対意見等</b> 議案は質疑を優先して掲載。 ※委員会で討論意見がないものは本会議の賛成・反対討論。																	
種類番号		件名	議員氏名	荒川 義孝	神谷 直子	杉浦 康憲	神谷 利盛	柳沢 英希	杉浦 辰夫	北川 広人	鈴木 勝彦	今原 かり	小嶋 克文	長谷川 広昌	黒川 美克	内藤 とし子	柴田 耕一	岡田 公作	倉田 利奈
<b>9月定例会 (会期：9月1日～9月25日・25日間) 議案等</b>		結果	○=同意、賛成、認定、採択 ●=不同意、反対、不認定、不採択 △=趣旨採択																
意第1号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
①少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画を早期に策定し、実施すること。 ②義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ還元すること。 以上、2点の意見書を国に提出する。		質疑なし																	


※杉浦辰夫議員は、議長職のため表決権はありません。

# 市政


## のここが聞きたい!!

# 一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。  
 なお、掲載文は、議員本人作成（文責）の原稿です。

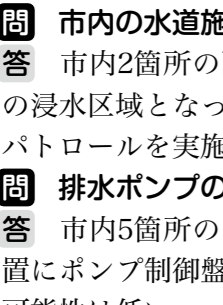


防災行政について



**問** 河川氾濫や浸水を監視する手段は。

**答** 河川に設置されている水位計に基づき、インターネット回線を通じて適宜、水位を確認するとともに、状況により、職員や消防団による監視もおこなっている。



**問** 市内の水道施設での浸水被害想定は。

**答** 市内2箇所の配水場は水害ハザードマップの浸水区域となっていない。状況により監視やパトロールを実施して対応している。


**問** 排水ポンプの浸水被害想定は。

**答** 市内5箇所のポンプ施設は堤防より高い位置にポンプ制御盤を配置している。施設浸水の可能性は低い。

**問** 下水道汚水のおふれ対策は。

**答** 汚水管のマンホール等からの溢水や宅内への逆流という、雨天時侵入水に起因する事象の報告はないが、雨天時には汚水量の増加も見受

けられるため、雨天時侵入水の対策については、今後、検討すべき課題。



**問** 要配慮者利用施設の避難計画と、自力での避難が難しい障害者や高齢者の避難行動要支援者避難支援計画の整備状況は。


**答** 要配慮者利用施設の避難計画については、全ての対象施設で計画が策定されている。避難行動要支援者避難支援計画については策定中で、民生・児童委員やケアマネジャーなど要支援者にかかわる福祉関係者の協力をいただきながら、進めていく。

**問** 稗田川の河川改修計画と八幡町地区での浸水被害に向けた対策は。

**答** 稗田川については、鮫川合流点付近左岸にある樋管の改修を予定しており、来年度以降についても中根橋までの約200メートルの区間を継続的に事業推進する予定。八幡町地区の排水能力を向上させるには、中吉樋門と樋門に通ずる排水路の抜本的な改修が必要となり、多くの工事費を要する。そのため、どのような手法がよいかなど、現在、検討している。

財源にも配慮しながら、都市計画事業として調整等、進めていきたいと考えている。

公共施設について



**問** 学校水泳授業を委託しているコパンの経営が苦しいという答弁があったが、現在の状況は。また、6月議会において、まだ出ていなかった昨年度のモニタリング結果は。

**答** 営業を再開し、運営を取り戻すように努めていると聞いている。また、コパン全体では、9月1日から事業拡大するという話も聞いている。いろいろな状況を聞きながらモニタリングをしている。

**問** コパンが市に支払うべき地代720万円が、4月末までに支払われていないことが分かった。猶予した根拠は。

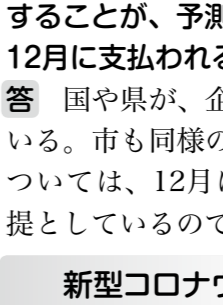
**答** コパン本社から、猶予してほしいという話があった。理由を述べていただき、12月まで猶予するというので、決定した。根拠となるものは、もらっていない。固定資産税、市税のほうも猶予しており、地代も猶予した。

**問** 猶予の申請書には、「今後も利用者が減少

することが、予測されます」と書かれているが、12月に支払われるのか。その際の延滞金は。

**答** 国や県が、企業が継続できる施策を打っている。市も同様の施策を打っている。延滞金については、12月に支払っていただくことを前提としているので、そうした話が出ていない。

新型コロナウイルス感染症対策への対応について



**問** 市が多額の補助金を出している高浜豊田病院は、コロナウイルス感染疑いのある方への対応をしていたか。また、今後は保健所を通すことなく、病院の判断でPCRの検体採取ができる制度となったが、高浜豊田病院の対応は。

**答** 高浜豊田病院に確認したところ、厚生労働省の「検査を実施する要件」を満たすことが、現状では難しいとの見解。感染症の対応については、要望を伝えていく。

**問** 高浜豊田病院から、補助金の追加に関する要望はないということではよかったか。

**答** コロナに関する検査を実施していただける医療機関については、今後高浜豊田病院も含めて補助をしていく必要が出てくると思う。



黒川 美克 議員

## 高浜市公共施設あり方 計画について

### 情報公開について

**問** 28件の審査請求が1年以上経過しても、何の連絡もないがその理由は。

**答** 諮問書や弁明書等の作成準備等が必要で、かなり

の労力を費やし、限られたマンパワーで対応が追いつかずに事務が滞ってしまった。

### 住民監査請求と住民訴訟について

**問** 平成28年4月1日以降、情報公開についての取消訴訟3件の訴訟結果は。

**答** 訴訟結果としては、平成28年の取消訴訟は原告の請求が認容。平成30年の取消訴訟は訴えの取り下げ。令和2年のは現在、継続中。

**問** 住民監査件数と住民訴訟の弁護士費用は。

**答** 住民監査請求は、平成28年度2件、平成29年度2件、平成30年度1件、令和元年度1件、今年度、9月1日現在で2件。住民訴訟の提訴件数

は、平成28年度1件、中央公民館公金差止。平成29年度2件、商工会固定資産税賦課徴収、商工会館解体不当利得。令和元年度2件、中央公民館控訴審他1件。訴訟費用は、公金支出差止め及び不当利得返還の第1審及び控訴審の3件分が370万7,500円。固定資産税違法確認訴訟が10万8,000円。勤労青少年ホームの訴訟が79万2,500円、合計で460万8,000円。

### 勤労青少年ホーム跡地発生土について

**問** 完了検査は650の土を確認したのか、720の土を確認したのか。

**答** 解体工事の検査は、720立米ではなく、あくまでも設計書での650立米を確認している。

**問** 720は測量しているが、5,354.08は、測量するよう依頼したら断られた。測量せずに最終処分場に出した数字は5,354.08で、換算係数が2.0。1,349トン換算係数が2.0。650と720は企画部長は同じ重さだと、答弁されたが矛盾していないか。

**答** 最終的には産業廃棄物の処分というのはトン当たりで、運搬も処理場でも重量を量って、きちんと精算している。



神谷 利盛 議員

## 高浜市市制施行50周年 記念事業について

**問** 新型コロナウイルス感染拡大による、各事業への影響は。

**答** 8月1日時点で、次年度への延期を決定した事業

①50周年記念事業 ②

「市民会議50」の企画事業

6事業の内の3事業 ③市民募集アイデア12事業

の内の6事業。中止・再検討1事業。

**問** 今年度実施予定事業は。

**答** ①「高浜市テーマソング」制作完了、普及啓発中。②「笑顔の写真事業」9月30日を期限として募集中。③「テレビ番組制作」8月末に撮影終了。など、順調に進行している。

**問** アニメキャラと干支瓦とのコラボ事業では、全国各地より多くのファンの来訪が期待できる。受け入れ体制は大丈夫か。

**答** ①コラボ期間を3ヶ月とし、来訪者の分散をはかる。②3密の回避・消毒の徹底を行う。三州鬼瓦工芸品の絶好のPRの機会なので、あ

わせて、高浜市全体のPRにつなげていきたい。

**問** 企業よりいただいた協賛金を新型コロナウイルス感染症対策に一部転用する予定はあるか。

**答** 8月末時点で企業・個人より約1,500万円（目標は1,000万円）いただいているが、現時点では転用する予定はない。

**問** もし、来年度もコロナ禍が収束しなかった場合には、事業の実施は見送るのか。

**答** 感染防止対策を講じることによって実施可能かどうかを「市民会議50」と検討していく。但し、安全第一の立場から中止する事業もあり得る。

**問** 市制施行50周年記念事業を通じて、市はどのような成果・効果を狙っているのか。

**答** 狙いは ①市内外への高浜市の魅力の発信

②市民の皆さんが高浜市に興味を持っていただく ③50年の振り返りにより、まちへの愛着を持っていただき、まちづくりの担い手を発掘したい。予定では第7次高浜市総合計画に市民会議を立ち上げ、まちづくりの担い手を目指す方々に集まってもらいたい。





今原 ゆかり 議員

### 子どもの予防接種について

**問** 子どもの定期予防接種は、B型肝炎、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症を始め、13疾患の発症や流行を予防するため、感染症にかかりやすい年齢をもとに接種のタイミングが決めら

れている。最近では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、予防接種を控える傾向がみられている。本市のコロナ禍における接種状況は。

**答** 4月の接種数は令和元年度が993件、令和2年度は793件、5月の接種数は令和元年度が949件、令和2年度は777件、6月の接種数は令和元年度が813件、令和2年度は872件。今年の4月と5月は2割ほど減少しているが、6月からは昨年並みとなっている。

**問** 予防接種全体の実施件数の減少がみられるが、今後の対応策は。

**答** ホームページや広報、子育て支援ネットワークでの情報発信も行い、予防接種の先送りや

接種忘れがないよう周知を図っている。今後は小学校を通し、勧奨チラシを配布していく予定。

### 産前産後ケアについて

**問** マイ保健師の相談支援の他にも産前のサポートとして、マタニティーサロンや両親学級を実施しているが、コロナ禍の影響は。

**答** 妊婦向けサロンである「ままプチさろん」や「パパママ教室」は、3月から6月は実施を中止し、7月から再開している。マイ保健師による相談支援は継続して実施し、感染への不安に合わせて、家庭訪問や電話での対応をした。

**問** 現在の産後ケア事業の利用状況は。

**答** 宿泊入院での八千代病院、碧助産院の2か所で実施。平成30年度は3件、延べ8日。令和元年度は3件、延べ15日の利用。

**問** 今年度から始めた産後デイサービス事業の内容は。

**答** 令和2年4月から、岡村産婦人科と碧助産院が日帰り型の産後ケア事業を開始。家事やきょうだい児の育児などの心配が少なくなり、自宅を夜間空けることが難しい母親にとっては、家庭生活を大きく変えることなく利用できる。



内藤 とし子 議員

### 新型コロナウイルス感染拡大から市民生活を守れ

**問** 感染拡大防止のために、防疫目的の大規模で網羅的なPCR検査を実施することを求める。刈谷市は9月1日行政検査を20の医療機関で行うと決めたと伺っている。高浜市はどうするのか。

新型コロナウイルス感染症対策会議では、ファクスに本市は「休日診療所」が無いため、「旧保健センターの活用を考える」と返事すると書かれている。それから半年がたつが保健センターはどのようになっているのか。

**答** コロナ対策は市の区域をまたいで行い、市単独で検査はしない。保健センターの話は3月時点の話で、国も対策本部で1日20万件検査を行うとっており、大きく状況が変わっている。

**問** インフルエンザが今冬コロナと同時流行するといわれている。高齢者は1,000円でインフルエンザワクチンを打てるが、子どもは2回打たなければならない、1回で3,000円以上もする

し、子どもが2人3人いる世帯は負担が大きいものがある。子どものワクチン接種に補助を出すよう求める。

**答** 今のところその考えはない。

**問** 妊産婦の分娩前検査（PCR検査）に県は2万円助成することを予算化した。不足分を市が出すよう求める。

**答** 今のところその考えはない。

**問** 医療関係者、介護、福祉施設の従事者にPCR検査をするよう勧めることが重要と考えるがどうか。

**答** 国からの要請に基づき、県が実施するものとする。

**問** 市民のいのちと暮らしを守るため、財政調整基金を取り崩しても、新型コロナの蔓延を防ぐという考えは。

**答** まず、市民の生活を守っていく。地域経済を支えていく。こういったところに今後対応していくことになる。





杉浦 康憲 議員

### 『住民監査請求と訴訟』 について

**問** 住民監査請求から、訴訟に発展した案件は。

**答** 監査結果が出た7件のうち、住民訴訟が提起されたものは4件。①平成28年度の商工会館移転に伴う移転補償の案件 ②平成29

年度は商工会館固定資産税非課税措置についての案件 ③商工会館取壊し費用の案件 ④令和元年度の青少年ホーム建設発生土処理費用の負担の案件。

**問** 勤労青少年ホーム発生土処理の住民監査請求の新聞報道には、「吉岡市長に対し・・・業者に支払った工事費2億円余の返還と、されない場合は市長が代わりに支払うよう求めて」とある。この他にも、同じく高浜の住民自治をめざす会会長より出された、高取こども園の土地造成費返還、大山会館の調査費に関する住民監査請求でも、それぞれ2,797万2千円と281万8千8百円を同様に、吉岡市長に代わりに支払

うよう求めた、との新聞報道があった。これは、高浜市に対してと言う意味で支払いを求めているのか、それとも、吉岡初浩氏個人に対して求めているのか。

**答** 個人としての吉岡市長に請求するよう求めるものである。

**問** 訴訟の内、名古屋高等裁判所に控訴中の案件の、一審の判決結果は。

**答** 一審の判決結果については、①商工会への物件移転補償費等の支出に関するもの ②商工会館取壊し費用の負担に関するもの ③固定資産評価額の決定に関するものの3件となっている。いずれも、原告の主張は退けられ、市の主張が認められているが、判決内容を不服として、控訴中。

**問** 住民監査請求や訴訟の詳細を、広報、ホームページなどで公表する必要があると思うが。

**答** 住民監査請求の結果は、地方自治法により市のホームページで公表。住民訴訟の判決結果の公表は、定めがない。住民訴訟3件の一審（名古屋地方裁判所）の判決結果は、広報、ホームページ等でのお知らせはしていない。



神谷 直子 議員

### 環境行政について

**問** 今年の7月1日からプラスチック製レジ袋の無料配布がスーパーやコンビニ等で廃止となった。高浜市では、以前より各種プラスチック資源回収をしている。昨年のプラスチックリサイクルの実績は。

**答** 発泡スチロールとプラスチック製容器包装は月に4回、ペットボトルは月2回回収しており、実績は発泡スチロール約2トン、ペットボトル約83トン、プラスチック製容器包装約170トンで合計約255トンになる。一昨年が251トンで4トンほどリサイクル量が増えている。

**問** 7月21日の報道で政府はプラスチック資源循環戦略に伴い、プラスチック製品を資源ごみとして分別回収をする方針を固めた。市では、不燃ゴミとしている物もあるが、今後の予定は。

**答** 2022年からプラスチック製品を一括回収するという方針が出たが、国からは通知が届いていない。国の動向を注視し、対応していく。

**問** 今までプラスチック製容器包装は、ゴミの分別拠点で回収となっているが、政府方針でいくと、2022年には不燃ゴミで出していた物も回収することになる。プラスチックリサイクルが増えるので、可燃ゴミステーションでリサイクルできるようにならないか。また指定袋等を買った物袋としてコンビニやスーパーなどで購入できるなど工夫している自治体もある。考えは。

**答** 有料、無料も含めて、リサイクル用袋や回収拠点について、今後検討していく予定である。

**問** 可燃ゴミ袋の極小サイズの導入は。

**答** 袋の種類が増えるとコストが増えるが、ゴミの減量化、リサイクル推進に向けて前向きに検討していきたい。

**問** ゴミの分別区分について、見直す考えは。

**答** 資源ゴミのリサイクル方法は常に進化しており、様々な方法を前向きに検討したい。

**問** ゴミの区分のアルミプレートが見にくいので改善して欲しい。イラストなどはどうか。

**答** 今後、ユニバーサルデザインを取り入れ、分別区分が変更になる機会にわかりやすい表記に努めたい。





荒川 義孝 議員

### 第6次高浜市総合計画の進行管理と第7次高浜市総合計画の考え方及び策定プロセスについて

**問** 後期基本計画もあと1年半だが、4つの基本目標の現在までの進捗状況は。

**答** 市民意識調査の結果から判断すると、基本目標は11の指標があり、9つの指標で5割以上、うち6つの指標で6割以上と、市民の皆様には良い評価をいただいている。

**問** 第7次総合計画の策定にかかる新型コロナウイルス感染症の影響については。

**答** 今後の高浜市および社会全体を取り巻く環境・課題・取組みもウイズコロナ、アフターコロナを踏まえた検討が必要。当初の予定より策定準備が遅れており多くの市民を集めての意見交換も難しく、第7次総合計画の策定期間を1年延期できないかと検討をしている。

**問** 次期計画の策定期間を1年延期に伴い、現行の第6次総合計画についてはどうなるのか。

**答** 基本目標の修正等はず、基本目標及び個別目標に紐づくアクションプランとともに1年間延長し、掲げる指標については、所要の経年補正等を行い必要に応じて修正を行う。

**問** 第7次総合計画を今後策定していく上で、新たに取り組むべき諸課題については。

**答** ウイズコロナ・アフターコロナ中で、従来とは取り組み方が変わってくると想定している。SDGsという概念を盛り込み、計画の進行管理は、よりデータを活用した客観的な分析ができ、より簡便な仕組みとなるよう検討する。

### 生涯学習基本計画における拠点施設について

**問** 多様な形でまなびの成果や知識、技能、経験等を活かせる発表の場づくり、ライフスタイル、ステージに応じたプログラムの企画・創出について、「たかぴあ」をどう活用していくのか。

**答** 世代等に応じた教室の開催など予定している。また、複合施設という特徴を活かし、例えば児童センターの子どもたちが、スポーツクラブやあかおにどん、くりっくの方々と交流を図り、子どもたちの社会性や経験値を高めるような機会について創出していきたいと考える。



柳沢 英希 議員

### 道徳教育について

**問** 道徳が教科化され小学校で2年、中学校では1年を経過するが。

**答** 高浜市では、教科化後も時間数に変更はない。教育委員会は、教職員に年間授業時数を満たすよう計画的な実施を依頼。週案を確認し、全授業の実施状況を把握し、必要に応じて指導している。

**問** 道徳の評価はどのようにされているか。

**答** 児童生徒が多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているのかという点を重視。他の児童生徒との比較評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを評価。数値評価でなく記述式評価である。学習活動中における児童生徒の発言や記述、考えを深めようとしたりする姿に着目して評価。学年末に評価を保護者に伝えることで、さらなる成長を促すとともに、教員自らの指導の改善にも努めている。

**問** 教育の現場や学校での課題は。

**答** 授業参観時でも保護者同士で大きな声で話したり、行事で違法駐車したりといった、他人に迷惑をかける行為なども見受けられる。身近な大人が手本となる姿を見せられるよう、いかに理解をしていただき、協力を得られるようにできるかが、課題である。

**問** 今後、道徳教育をどのように進めていくか。

**答** 考え、議論する道徳の授業づくりを大切に、児童生徒が、「問題意識をもって授業に臨む」、「自分との関わりで捉え、考える」、「多面的・多角的に考える」、「自らをふり返り、自己の生き方について考える」ことができるような授業を展開していく。教材を使って生き方を学ぶのが道徳科の本来の学習である。

子どもたちの実態を把握し、意図的な発問や、活発な対話を生み出す授業づくりによって、人間としてよりよく生きようとする道徳性を養い、それを構成する「道徳的判断力」「道徳的心情」「道徳的実践意欲と態度」を育てることを目標として、考え、議論する道徳の実現を図っていく。



## 議場に行かなくても「本会議」の中継が見られます

インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生中継や録画中継をごらんいただけます。

①生(ライブ)で、本会議中継(委員会を除く)の視聴ができます。

※告示日は、本会議がないので中継はありません。

②本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。

③録画中継は、生中継放送後、概ね2週間後に配信を予定しています。

市公式ホームページからも  
リンクしています

「トップページ」→「市の紹介」→「高浜市議会」→「議会映像配信」  
上記より、ご覧になりたいものを選択いただければ、見ることができます。

### ■PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/rd/council.html>

■スマートフォン向けアドレスもPC向けアドレスと同じになります。



！  
ご注意ください

※視聴は無料ですが、通信料などは、皆様のご負担になります。

※動画配信ですから、契約内容によっては、通信料が高額になる場合があります。

※視聴環境に係る契約内容をよく確認・納得の上、ご視聴ください。

## 12月定例会

定例会は3月・6月・9月・12月の、年4回開催されます。会議の開始時間は、いずれも午前10時の予定です。一般質問では、市政全般にわたって論議が展開されます。ここに記載のある委員会も傍聴できます。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、12月議会は傍聴の自粛をお願いしています。本会議は市公式ホームページから視聴してください。委員会のネット中継はありません。

### 12月定例会の日程

月日	曜	会議日程	摘要
11月26日	木	告示日	議会運営委員会
12月3日	木	本会議 第1日目	開会、議案上程、説明
12月8日	火	本会議 第2日目	一般質問
12月9日	水	本会議 第3日目	一般質問
12月11日	金	本会議 第4日目	総括質疑、議案委員会付託
12月15日	火	総務建設委員会	付託案件審査
12月16日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
12月23日	水	本会議 第5日目	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

### 議会傍聴自粛の お礼とお願い

新型コロナウイルス対策に係る議会傍聴自粛のお願いに、皆さまのご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今後も感染拡大防止のため、傍聴自粛のお願いをする必要がございます。

引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 編集 後記

今年の議会も、12月定例会の時期となりました。本来であれば、2020年は、オリンピック開催年であり、国内は海外からの渡航客で賑わい、選手の活躍に国民は歓喜し、そして、高浜市内は市制50周年記念事業で街に活気が溢れ、また次の50年への新たなスタートを迎えるはずでした。しかし年初めから、新型コロナウイルスに、世界中で多くの人が感染し、現在でも感染の収束はみられず、人と人の交流も、前向きになれないような一年になってしまいました。ですが今回のウイルス感染拡大防止の取組から、人が人を想うということの大切さに、再度気付かされた一年であった気がいたします。これを機に、2021年を皆さまと一緒に良い年にしていけたらと存じます。 広報広聴委員会 委員長